



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

上場会社名 株式会社MIXI 上場取引所 東
 コード番号 2121 URL <https://mixi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 弘毅
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 大澤 弘之 (TEL) 03-6897-9500
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	65,734	21.1	13,484	21.3	11,249	23.1	10,521	15.7	1,960	△68.2
2022年3月期第2四半期	54,275	△7.6	11,119	△31.1	9,141	△34.9	9,094	△34.5	6,167	△33.9

※EBITDA=減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 3,073百万円(△49.0%) 2022年3月期第2四半期 6,025百万円(△42.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	26.96	26.67
2022年3月期第2四半期	83.11	81.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	221,903	184,517	82.0
2022年3月期	218,056	186,056	84.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 181,874百万円 2022年3月期 183,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2023年3月期	—	55.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,000	9.0	19,500	△11.7	15,500	△13.0	15,500	△12.1	5,000	△51.3	68.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	78,230,850株	2022年3月期	78,230,850株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	5,295,701株	2022年3月期	5,677,300株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	72,728,128株	2022年3月期2Q	74,211,425株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらを業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2022年11月4日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(四半期連結損益計算書関係)	12
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	12
(セグメント情報等)	13
(企業結合等関係)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	54,275	65,734	21.1%
EBITDA(百万円)	11,119	13,484	21.3%
営業利益(百万円)	9,141	11,249	23.1%
経常利益(百万円)	9,094	10,521	15.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	6,167	1,960	△68.2%

当第2四半期連結累計期間の売上高は65,734百万円(前年同四半期比21.1%増)となりました。また、EBITDAは13,484百万円(前年同四半期比21.3%増)、営業利益は11,249百万円(前年同四半期比23.1%増)、経常利益は10,521百万円(前年同四半期比15.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,960百万円(前年同四半期比68.2%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間から、報告セグメントの名称及び区分方法を変更しており、以下の前年同四半期比較及び分析については、変更後の区分に基づいて記載しております。

また、事業セグメントの利益の測定方法は、減価償却費及びのれん償却額を考慮しない営業利益ベースの数値(EBITDA)としております。

① デジタルエンターテインメント事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	40,699	47,608	17.0%
セグメント利益(百万円)	17,880	20,524	14.8%

デジタルエンターテインメント事業は、スマートデバイス向けゲーム「モンスターストライク」を主力として収益を上げております。当第2四半期連結累計期間におきましては、「モンスターストライク」は、有力IPとのコラボレーションや新たな施策等によりARPU及びMAUが前年同期を上回ったことで、売上高及びセグメント利益ともに増収増益となっております。また、3年ぶりの開催となったオフラインイベント「XFLAG PARK2022」は成功を収め、ユーザーの熱量増加に寄与しております。2022年7月には新作タイトルとして、モンスターIPを活用したシリーズ第1弾となる「ゴーストスクランブル」をリリースしております。

この結果、当事業の売上高は47,608百万円(前年同四半期比17.0%増)、セグメント利益は20,524百万円(前年同四半期比14.8%増)となりました。

② スポーツ事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	8,000	12,995	62.4%
セグメント損失(△)(百万円)	△2,166	△1,378	-%

スポーツ事業では、観戦事業、公営競技事業への投資を行っております。観戦事業におきましては、2022年2月よりプロサッカーチーム「FC東京」を運営する東京フットボールクラブ株式会社が新たにグループに加わっております。公営競技事業におきましては、スポーツベッティングサービス「TIPSTAR」及び株式会社チャリ・ロトで、前第2四半期連結累計期間と比較して、オンライン車券販売高が伸びたことで売上を順調に拡大しております。また、「TIPSTAR」は、コストの効率化を進め費用の抑制を図ったことで、セグメント損益は改善しております。

この結果、当事業の売上高は12,995百万円(前年同四半期比62.4%増)、セグメント損失は1,378百万円(前年同四半期はセグメント損失2,166百万円)となりました。

③ ライフスタイル事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	2,888	3,508	21.5%
セグメント利益又は損失 (△)(百万円)	48	△233	-%

ライフスタイル事業では、家族向け写真・動画共有アプリ「家族アルバム みてね」、サロンスタッフ直接予約アプリ「minimo」、SNS「mixi」を中心に各種サービスを運営しております。「みてねみまもりGPS」の販売が入学シーズンに伴い好調であったことにより、売上を伸ばしております。また、「みてね」が7言語・175の国と地域で展開するなど、海外ユーザー数も全体の3割を超えてきており、ユーザー数は順調に増加してきております。加えて、2022年10月には株式会社スフィダンテが株式会社CONNECTITの株式を取得し、当第2四半期連結会計期間にみなし取得として連結子会社化しております。年賀状アプリサービスにおいて強固なユーザー基盤を持つ同社と手を組むことで、スマホ年賀状のさらなるシェア拡大及びコスト効率化を進めてまいります。

この結果、当事業の売上高は3,508百万円（前年同四半期比21.5%増）、セグメント損失は233百万円（前年同四半期はセグメント利益48百万円）となりました。

④ 投資事業

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(百万円)	2,687	1,551	△42.3%
セグメント利益(百万円)	1,669	1,112	△33.4%

投資事業では、スタートアップやベンチャーキャピタルへの出資を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、当社グループの出資するファンドの損益を取り込んだことと、当社及び株式会社アイ・マーキュリーキャピタルの保有する投資有価証券の売却による収益を計上しております。

この結果、当事業の売上高は1,551百万円（前年同四半期比42.3%減）、セグメント利益は1,112百万円（前年同四半期比33.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結累計期間の財政状態は、資産については流動資産が156,500百万円（前連結会計年度末比629百万円増加）となり、主な要因としては、営業投資有価証券の取得があげられます。固定資産は65,402百万円（前連結会計年度末比3,218百万円増加）となり、主な要因としては、長期貸付金の増加があげられます。

負債については、流動負債が27,042百万円（前連結会計年度末比6,194百万円増加）となり、主な要因としては、未払金及び前受金の増加があげられます。純資産は184,517百万円（前連結会計年度末比1,538百万円減少）となっております。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べて459百万円増加し、118,893百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は8,073百万円（前年同四半期は610百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少額1,739百万円及び税金等調整前四半期純利益が4,046百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は4,169百万円（前年同四半期は12,647百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,177百万円及び投資有価証券の取得による支出1,898百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は3,906百万円(前年同四半期は11,632百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払3,988百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,633	119,093
受取手形及び売掛金	11,580	9,513
営業投資有価証券	14,400	16,531
商品	732	481
未収消費税等	456	95
その他	10,106	10,825
貸倒引当金	△39	△40
流動資産合計	155,871	156,500
固定資産		
有形固定資産	15,012	15,166
無形固定資産		
のれん	10,737	10,475
顧客関連資産	6,316	5,977
商標権	2,737	2,602
その他	2,133	2,080
無形固定資産合計	21,924	21,135
投資その他の資産		
投資有価証券	13,458	14,354
長期貸付金	—	2,242
繰延税金資産	5,620	7,666
その他	6,186	5,984
貸倒引当金	△17	△1,146
投資その他の資産合計	25,247	29,100
固定資産合計	62,184	65,402
資産合計	218,056	221,903
負債の部		
流動負債		
短期借入金	645	933
未払金	11,660	14,529
未払法人税等	2,503	3,726
未払消費税等	—	417
賞与引当金	1,469	1,005
その他	4,569	6,430
流動負債合計	20,847	27,042
固定負債		
長期借入金	7,477	7,171
繰延税金負債	3,002	2,738
その他	672	432
固定負債合計	11,152	10,343
負債合計	32,000	37,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	9,656	9,656
利益剰余金	181,278	178,498
自己株式	△18,248	△17,022

株主資本合計	182,385	180,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	325
為替換算調整勘定	277	715
その他の包括利益累計額合計	749	1,041
新株予約権	1,506	1,150
非支配株主持分	1,415	1,493
純資産合計	186,056	184,517
負債純資産合計	218,056	221,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	54,275	65,734
売上原価	13,234	17,393
売上総利益	41,040	48,341
販売費及び一般管理費	※1 31,899	※1 37,092
営業利益	9,141	11,249
営業外収益		
受取利息	0	2
為替差益	16	155
その他	114	204
営業外収益合計	132	362
営業外費用		
支払利息	29	30
持分法による投資損失	115	1,005
その他	32	54
営業外費用合計	178	1,090
経常利益	9,094	10,521
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
事業撤退損	—	※2 4,468
固定資産除売却損	31	0
貸倒引当金繰入額	—	1,129
関係会社株式売却損	—	※3 875
特別損失合計	31	6,474
税金等調整前四半期純利益	9,063	4,046
法人税、住民税及び事業税	2,934	3,514
法人税等調整額	△118	△2,249
法人税等合計	2,816	1,264
四半期純利益	6,246	2,781
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	820
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,167	1,960

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	6,246	2,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△260	△146
為替換算調整勘定	39	438
その他の包括利益合計	△221	292
四半期包括利益	6,025	3,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,946	2,253
非支配株主に係る四半期包括利益	79	820

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,063	4,046
減価償却費	581	712
無形固定資産償却費	857	898
のれん償却額	538	624
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△782	△464
受取利息及び受取配当金	△0	△2
支払利息	29	30
為替差損益(△は益)	△9	△152
持分法による投資損益(△は益)	115	1,005
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△1,062	△2,082
固定資産除売却損益(△は益)	31	0
棚卸資産の増減額(△は増加)	△168	225
関係会社株式売却損益(△は益)	—	875
事業撤退損	—	4,468
貸倒引当金繰入額	—	1,129
売上債権の増減額(△は増加)	3,431	1,739
未払金の増減額(△は減少)	△1,786	1,522
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,613	615
その他の資産の増減額(△は増加)	△4,202	△6,243
その他	1,497	1,479
小計	6,516	10,429
利息及び配当金の受取額	0	2
利息の支払額	△27	△30
法人税等の支払額	△5,878	△2,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	610	8,073
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,700	△1,177
無形固定資産の取得による支出	△454	△339
無形固定資産の売却による収入	9	—
投資有価証券の取得による支出	△10,474	△1,898
貸付けによる支出	—	△1,120
貸付金の回収による収入	0	640
差入保証金の差入による支出	△37	△38
差入保証金の回収による収入	—	23
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	※2 233
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	※3 △921
その他	8	427
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,647	△4,169
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200	199
長期借入れによる収入	35	—
長期借入金の返済による支出	△219	△217
自己株式の取得による支出	△7,524	△0
配当金の支払額	△4,144	△3,988
その他	21	99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,632	△3,906

現金及び現金同等物に係る換算差額	28	462
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△23,640	459
現金及び現金同等物の期首残高	149,812	118,433
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△112	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 126,059	※1 118,893

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、ストック・オプションの権利行使に伴う自己株式381,600株の処分により、自己株式が1,226百万円減少しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己株式が17,022百万円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

当社グループは、「投資事業」について、取組の強化により投資規模を拡大するとともに、投資活動を主軸とした当社の持続可能な成長への寄与を目的として、第1四半期連結会計期間より「投資事業」を主たる事業として独立区分し報告セグメントといたしました。

この変更に伴い、財務的リターンを主たる目的として取得した有価証券に係る損益について、従来、受取配当金を営業外収益、売却損益を特別損益、評価損を特別損失とする方法によっておりましたが、第1四半期連結累計期間より受取配当金及び売却金額を売上高、売却した有価証券の帳簿価額及び評価損等を売上原価に計上する方法に変更しております。また、投資事業有限責任組合及びそれに類する組合への出資に係る損益について、従来、持分相当額を純額で営業外損益に計上しておりましたが、第1四半期連結累計期間より組合ごとに利益の場合は売上高、損失の場合は売上原価に計上する方法に変更しております。なお、連結貸借対照表上、従来、投資その他の資産の投資有価証券に含めて計上しておりました財務的リターンを主たる目的として取得した有価証券は、第1四半期連結会計期間より流動資産の営業投資有価証券として表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表)

前連結会計年度の連結貸借対照表において、「投資その他の資産」の「投資有価証券」に表示しておりました14,400百万円は、「流動資産」の「営業投資有価証券」に組み替えております。

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取配当金」10百万円、「投資事業組合運用益」157百万円、「特別利益」の「投資有価証券売却益」1,857百万円、「投資有価証券精算益」51百万円、「特別損失」の「投資有価証券評価損」318百万円を組み替えた結果、「売上高」が2,687百万円、「売上原価」が929百万円増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「受取利息及び受取配当金」△10百万円、「投資事業組合運用損益(△は益)」△168百万円、「投資有価証券売却損益(△は益)」△1,857百万円、「投資有価証券清算損益(△は益)」△51百万円、「投資有価証券評価損益(△は益)」318百万円、「利息及び配当金の受取額」10百万円及び「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資有価証券の取得による支出」△2,472百万円、「投資有価証券の売却による収入」2,180百万円、「投資有価証券の分配による収入」728百万円、「その他」51百万円を「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「営業投資有価証券の増減額(△は増加)」△1,062百万円、「その他の資産の増減額」△4,202百万円、「その他」3,993百万円

に組み替えております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
広告宣伝費	6,982百万円	7,777百万円
決済手数料	12,236百万円	14,653百万円

※2. 事業撤退損

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

新規プロダクトの開発を中止したことにより生じた事業撤退損4,468百万円を特別損失に計上しております。

※3. 関係会社株式売却損

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社の連結子会社である株式会社PIST6の全株式を売却したことによるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
現金及び預金勘定	126,059百万円	119,093百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	－百万円	△200百万円
現金及び現金同等物	126,059百万円	118,893百万円

※2. 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

株式会社CONNECTIT

流動資産	271百万円
固定資産	72百万円
資産合計	344百万円
流動負債	5百万円
負債合計	5百万円

※3. 株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

株式会社PIST6

流動資産	4,480百万円
固定資産	0百万円
資産合計	4,480百万円
流動負債	526百万円
固定負債	2,242百万円
負債合計	2,769百万円

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフス タイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益 (注) 3	40,699	8,000	2,888	—	51,587	—	51,587
その他の収益	—	—	—	2,687	2,687	—	2,687
外部顧客への売上高	40,699	8,000	2,888	2,687	54,275	—	54,275
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	40,699	8,000	2,888	2,687	54,275	—	54,275
セグメント利益又は損失 (△)	17,880	△2,166	48	1,669	17,431	△8,290	9,141
その他の項目							
減価償却費	183	694	122	0	1,001	437	1,439
のれん償却額	—	475	63	—	538	—	538

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△8,290百万円には、報告セグメントの減価償却費△1,001百万円及びのれん償却額△538百万円並びに各セグメントに配分していない全社費用△6,749百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デジタル エンター テインメ ント事業	スポーツ 事業	ライフ スタイル事 業	投資事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益 (注) 3	47,608	12,995	3,508	—	64,111	71	64,183
その他の収益	—	—	—	1,551	1,551	—	1,551
外部顧客への売上高	47,608	12,995	3,508	1,551	65,663	71	65,734
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	47,608	12,995	3,508	1,551	65,663	71	65,734
セグメント利益又は損失 (△)	20,524	△1,378	△233	1,112	20,024	△8,775	11,249
その他の項目							
減価償却費	157	855	141	0	1,153	457	1,611
のれん償却額	—	478	145	—	624	—	624

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△8,775百万円には、報告セグメントの減価償却費△1,153百万円及びのれん償却額△624百万円並びに各セグメントに配分していない全社売上71百万円、全社費用△7,069百万円が含まれております。全社項目は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の項目であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当社グループの売上高としては、主にデジタルエンターテインメント事業におけるスマートデバイス向けゲームである「モンスターストライク」で構成されております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

投資事業を主要な事業の一つとして取り組むことに伴い、第1四半期連結会計期間より、「投資事業」を独立区分し、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称及び区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

株式会社CONNECTIT

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び取得した事業の内容

被取得企業の名称 : 株式会社CONNECTIT

取得した事業の内容 : オンライン年賀状注文サービス

(2) 企業結合を行った理由

CONNECTITが提供するオンライン年賀状注文サービスと、当社が提供する年賀状アプリサービスのアセットを組み合わせ、市場でのシェアを拡大するため同社の株式を取得したものであります。

(3) 企業結合日

2022年10月21日(株式取得日) 2022年9月30日(みなし取得日)

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

株式会社CONNECTIT

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、株式会社CONNECTITの議決権の全てを取得し、連結子会社化したことによるものであります。

2. 連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

当連結会計年度において、被取得企業の業績は含んでおりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	700百万円
取得原価		700百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー・調査費用等 14百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額 361百万円

(2) 発生原因 被取得企業に係る取得企業の持分額と取得原価との差額により、発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間 4年間にわたって均等償却します。

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

連結キャッシュ・フロー計算書関係の注記をご参照ください。

7. 企業結合が当連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

当該影響の概算額は重要性が乏しいため、記載を省略しております。